



TITLE:

1930年十一月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

1930年十一月の天象. 天界 1930, 11(115): 39-41

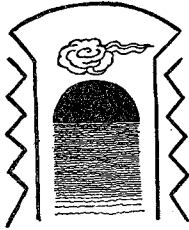
ISSUE DATE:

1930-10-25

URL:

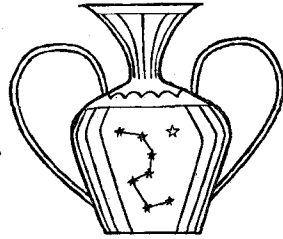
<http://hdl.handle.net/2433/161582>

RIGHT:



1930年

十一月の天象



太陽

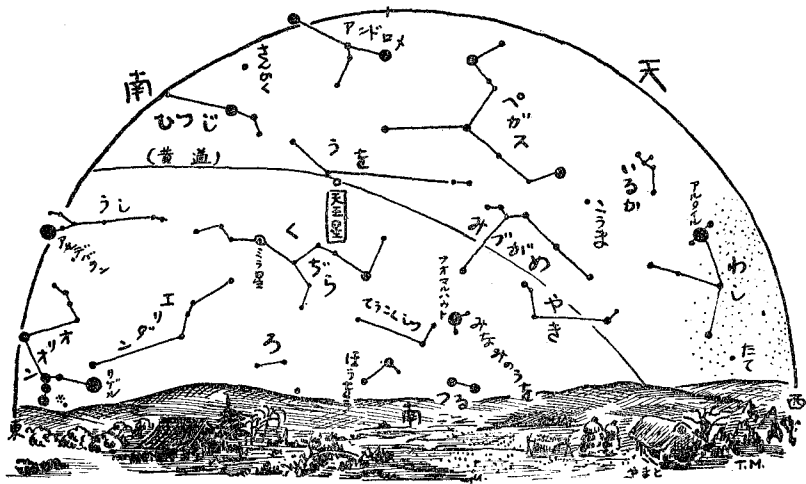
日	赤 経	赤 緯	視直径	星 座
1	14時23分50秒	南14度17分	32分17秒	てんびん
11	15時3分37秒	17度18分	32分22秒	てんびん
21	15時44分49秒	19度49分	32分26秒	てんびん
(31)	16時27分22秒	21度45分	32分30秒	へびつかひ

月始めは天蝸宮にあつて、8日にその中央を通過するが、23日からは人馬宮に侵入するに至る。

月

月の相	時 刻	視直径	星 座
満 月	6日午後 7時28分 6秒	30分51秒	ひ つ じ
下 弦	13日午後 9時27分18秒	32分15秒	し し
新 月	20日午後 7時21分12秒	31分27秒	てんびん
上 弦	28日午後 3時17分36秒	29分34秒	みづがめ
近地点通過	15日午後 3時30分	32分20秒	し し
遠地点通過	28日午前 7時54分	29分33秒	みづがめ

月の遊星歴訪としては、今月は先づ最初が4日午前8時に例の天王星と出合ふのから始まる。今月も今までの様に掩蔽を起す。併し、今月は月の姿さへ全然見えない時刻である。月が天王星を掩蔽するのは今後も連続して起り、明年の1月まで続く。扨て次は11日午後5時に木星と出合つて、北側を通り、13日午前2時に火星に追ひ付いて、その北側3度の所を通過し、14日午後9時に海王星の北4度の所を通る。21日午前2時には金星と出合つて、掩蔽を起すのであるが、新月であつて全然見る事が出来ない。次いで、同日午前11時に水星に追ひ付いて、その南側2度の所を通る、最後は23日夜半で土星に追ひ付いて、其れの南側5度も離れた所を通過して今月の遊星歴訪を終る。



遊 星 界

水 星 月始めは曉の東天で、7日に太陽と外合の後、宵の西天に廻る。徐々に順行してゐる爲め、常に太陽に近く殆んど觀望出來ぬ。が月末は稍々よい。月末の位置は \angle へびつかひ \cap の東部で、視直徑5秒、光度負半等級。

金 星 宵の明星であるが、2日の停留以後、逆行となり、ぐんぐん太陽に近付き、22日には内合となり、曉の空へ廻る。故に月初めのみ觀望に適す。月初めの位置は \angle さそり \cap 西部、光度負4等、視直徑50秒餘り。

火 星 夜11時頃出現。次第に地球に接近するので視直径も大きくなり、月末には10秒足らずとなる。位置は「かに」座の中央から、同座東端まで順行する。光度正半等級。明年2月に最接近であるが、もうそろそろ観望を始めるのも面白からう。

木 星 午後9時頃東に登る。Lかに「座東部で、8日に停留となり、以後逆行に移る。光度負2等。視直徑41秒。愈々觀望には都合よくなる。

土 星 宵の西空¹いて²の中央，光度正半等，視直徑14秒。

天王星 宵に東天にあり。視直径3秒半、光度6等。位置はうを7の中央。

海王星 レグルスに近い。夜半出現 光度8等、視直径2秒餘り。

プルート γ 座の δ 東 $3\frac{1}{2}^{\circ}$ の所で逆行を始む.